

- アンケート調査票 -

下記の各設問について、あなたの考えにもっとも近い回答の番号を一つだけ選び○で囲んでください。(複数回答可の設問もございます)

また、回答で「その他」を選んだ場合は、枠内にご意見等を記入してください。

1 記入されるあなた自身についてお答えください。

(1) 性別

回答	1. 男性	2. 女性	3. どちらにもあてはまらない
----	-------	-------	-----------------

(2) 年齢

回答	1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	

(3) 福島第一原子力発電所事故当時(10年前)の住所

回答
1. 福島市内
2. 事故後、福島県内の自治体から福島市に転入してきた
3. 事故後、福島県外の自治体から福島市に転入してきた→(3) - 2へ
4. 事故後、避難してきた

(3) - 2 (3)で3. 事故後、福島県外の自治体から福島市に転入してきたと答えた方にお伺いします。福島市に転入してからの期間をお答えください。

回答
1. 1年未満
2. 1年以上5年未満
3. 5年以上

(4) 職業

回答	
1. 農林水産業(農業、林業、漁業など)	2. 自営業
3. 会社員	4. 公務員、団体職員等
5. パート、アルバイト	6. 学生
7. 家事(家事・育児・介護などだけに従事)	8. 無職(学生・家事を除く)
9. その他(下の枠内にご記入ください)	
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	

2 現在の放射線による健康影響をお聞きします。

(1) 現在の福島市の空間線量や食品に含まれる放射線量で、今後あなたや家族等に健康被害(例えば、がんの発症など)が、どのくらいおきると思いますか。

回答
1. 可能性は極めて低い
2. 可能性は低い
3. 可能性は高い
4. 可能性は非常に高い
5. わからない

(2) 現在の福島市の空間線量や食品に含まれる放射線量で、次世代以降の人（将来生まれてくる自分の子や孫など）に健康影響がどのくらいおきると思いますか。

回答

1. 可能性は極めて低い
2. 可能性は低い
3. 可能性は高い
4. 可能性は非常に高い
5. わからない

3 内部被ばく検査についてお聞きします。

(1) 福島市が行っている内部被ばく検査を受けたことがありますか。

回答

1. 1回受けた 2. 2回以上受けた→(1) - 2へ 3. 受けたことがない→(1) - 3へ

(1) - 2 (1) で2. 2回以上受けたことがあると答えた方にお伺いします。2回以上受けた理由をお答えください。

回答

1. 一度では心配なため
2. 経年変化を確認したいため
3. 放射線濃度の測定されていない自然の山菜、キノコ等を食べたから確認のため
4. その他

(1) - 3 (1) で3. 受けたことがないと答えた方にお伺いいたします。受けなかった理由をお答えください。

回答

1. 必要性を感じない（不安はないため）
2. 検査自体がよくわからない
3. 検査の場所や時間が限られ受けづらい
4. その他

4 ガラスバッジでの外部被ばく検査についてお聞きします。

(1) ガラスバッジによる外部被ばく検査を受けたことはありますか。

回答

1. 1回受けた 2. 2回以上受けた→(1) - 2へ 3. 受けたことがない→(1) - 3へ

(1) - 2 (1) で2. 2回以上受けたことがあると答えた方にお伺いします。2回以上受けた理由をお答えください。

回答

1. 一度では心配なため
2. 経年変化を確認したいため
3. 農業や建設業など屋外で仕事をしているため
4. その他

(1) - 3 (1) で3. 受けたことがないと答えた方にお伺いします。受けなかった理由をお答えください。

回答

1. 必要性を感じない（不安はないため）
2. 検査自体がよくわからない
3. 3ヶ月間身に着けることに抵抗がある
4. その他

5 福島市の放射線に関する取り組みについてお聞きします。

(1) 放射線やその他健康に関する情報発信について、どのような形式が望ましいですか。

(複数回答可)

回答

1. ホームページへの掲載
2. 「市政だより」など広報紙への掲載
3. TwitterやFacebook等のSNSによる発信
4. テレビ、ラジオ、新聞などマスメディアを活用したもの
5. パネルやポスターの展示など
6. 地域や学校での放射線に関する学習の機会
7. その他（下の枠にご意見を100文字以内で記入してください）

(2) 今後放射線不安を解消するために、福島市に望むことはどのようなものでしょうか。

(複数回答可)

回答

1. 放射線に関する基本的な情報（単位や種類、性質等）の発信
2. 放射線による健康や環境へ与える影響などの情報の発信
3. 食品の安全性の確保
4. 地域や学校での放射線についての学習、教育の充実
5. 検査体制の継続
6. 心のケア
7. 放射線に関する不安はないので、特に何もなし
8. その他（下の枠にご意見を100文字以内で記入してください）

次のページに続きます。



6 内部・外部被ばく検査のあり方、放射線に関する情報発信などの事業についてご意見がございましたら、200文字以内で記入してください。

7 東日本大震災後の放射線に関する意識、福島市の復興状況についてお聞きします。

(1) 東日本大震災（原発事故）から10年が経過しました。あなたは、福島市で暮らす中で、放射線による健康不安はありますか。

回答

1. 不安はない
2. あまり不安ではない
3. やや不安である
4. 大いに不安である

(2) あなたの放射線による健康不安は、この10年で変化はありますか。

回答

1. 小さくなった
2. かわらない
3. 大きくなった

(3) あなたは、福島市の復興の状況について、どのように感じていますか。

回答

1. 大いに進んだ
2. やや進んだ
3. あまり進んでいない
4. 進んでいない

ご協力ありがとうございました。
この調査票を、返信用封筒に入れ、郵便ポストへ投函してください。